



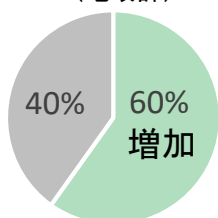
〈分析の視点等〉

○法人経営体数と農産物販売金額の関係をみる

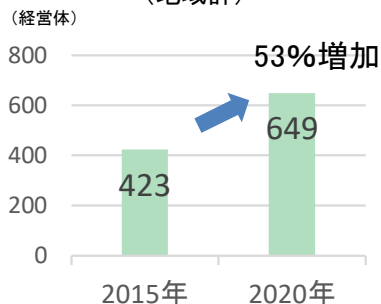
2015年から2020年の5年間の法人経営体数の変化と農産物販売金額の変化を農業集落別にみることにより、法人化の進展状況と農産物販売金額の動きと組合せて地域の状況を明らかにする。

分析事例

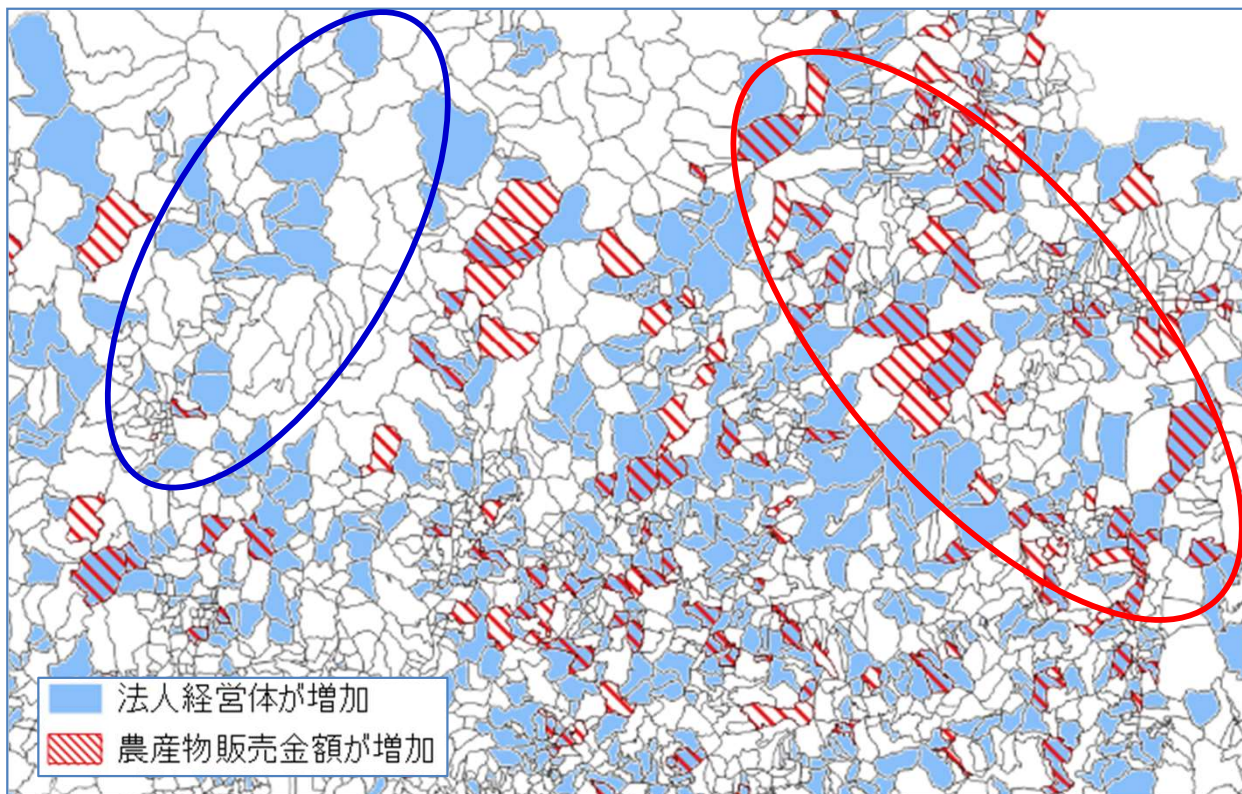
法人経営体が増加した
農業集落で販売金額が
増加した農業集落数割合
(地域計)



法人経営体数
(地域計)



赤枠の地域をみると、法人経営体数と農産物の販売金額が増加している農業集落が多くみられる一方で、青枠の地域では、法人経営体は増加しているが、農産物の販売金額の増加とはなっていない。



使用したデータ

- ・組織形態別経営体数（2015年、2020年）
- ・農産物販売金額規模別経営体数（2015年、2020年）
- ・農業集落境界

（計算方法）

法人経営体数の増減＝

法人経営体数（2020年）－法人経営体数（2015年）

農産物販売金額＝

農産物販売金額規模別の中央値の金額×農業経営体数

（例：300～500万円階層は400万円が中央値の金額）